

令和5年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第1回会議録

日 時 令和5年5月30日(火) 9:30~11:20
場 所 鎌ヶ谷市役所本庁舎6階 第1委員会室
出席委員 上田智子委員、仲野美和委員、高橋万里子委員、渡辺善彦委員、
山田芳裕委員、石田友和委員、林紅委員
欠席委員 佐川幸江委員、佐久間眞由美委員、鈴木智恵委員
事務局 戸邊男女共同参画室長、河岸主事、小野寺社会福祉士、山崎プロジェクトマネージャー
傍聴者数 0名

会議内容

1 開会

戸邊男女共同参画室長より開会の挨拶。

2 会長挨拶

3 会議録署名人の選出

名簿順により山田委員、石田委員が選出された。

4 議題

- (1) 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画の進行管理について
- (2) その他

(1) 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画の進行管理について

(事務局)

(議題(1) 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画の進行管理について説明。)

男性の育児休業取得について

(会長)

資料1の2ページにある「女性職員の管理職への登用」について、女性管理職割合が県内37市中1位であることは素晴らしいことである。これからも維持していただきたい。

資料2-2の18ページのNo. 39について、市男性職員の育児休業取得率が75パーセントとなっているが、割合が増えた理由についてお聞きしたい。

(事務局)

鎌ヶ谷市特定事業主行動計画により、育児休業取得対象の男性職員に聞き取

りを行い、育児休業の取得プランを作成することとなった。取得できない場合は理由を確認するようにしている。そのような経緯で取得率が増加している。

(会長)

男性の育児休業取得の平均日数はどのくらいか。

(事務局)

会議後、人事室に確認する。

(委員)

男性が育児休業を取得した結果、どのような効果があったか。例えば、職場の雰囲気の変化など、そのあたりの状況も具体的に把握し、経過観察できれば、取得による効果が分かるのではないか。

(事務局)

現在、数値のみ把握している。いただいた意見を基に、今後の進行管理表にも反映できるか検討する。

(委員)

取得による職場内の仕事への影響も共有できると今後の改善にも繋がるかと思う。

(事務局)

承知した。

(委員)

関連して、市内企業への男性の育児休業取得の呼びかけは行っているか。

(事務局)

効果のある周知方法は模索中だが、商工振興課で関連した案内チラシ等を配架している。

(委員)

男性の育児休業取得による職場の雰囲気の変化についても発信できると良いと思う。

関係機関との連携について

(委員)

男女共同参画計画には基本目標が3つあり、目標Ⅰに意識づくり、目標Ⅱにリーダーシップに関連した内容が盛り込まれている。日頃から双方で刺激し合いながら、具体的な活動に結び付けていくことが理想かと思う。市としてはどのようなアクションを起こしているのか。

(事務局)

事業全体に言えることだが、男女共同参画室だけでは達成できないことも多いため、各部署で男女共同参画の意識を持ってもらうことが必要となる。そのため、庁内担当課が集まる男女共同参画推進会議を開催し、各課での取組や改善点、今後の課題を共有し、各部署の職員にも共有してもらうようにしている。

(委員)

会議の実施により変化はあったか。

(事務局)

意見をより共有できるよう、今年度から会議形式を変更したため、今後の変化に期待したいところである。各部署の現状を他部署と今まで以上に共有できるようになったことが今回の進歩かと思うため、今後も継続していきたい。

市職員向け研修について

(会長)

資料1の1ページにある「職員に対する男女共同参画研修の実施」について、在職職員受講者割合は増えているが、管理職研修の受講者数が減っているのはなぜか。

(事務局)

管理職の人数には大きな変化はない。事前申込みはあるものの、他業務により急遽出席できないこともあり、当日の受講者数が減ってしまった。

(会長)

目標値の60パーセントを達成してはいるが、60パーセントという数値も決して高いわけではないため、管理職研修にはもう少し力を入れていただきたい。

(事務局)

承知した。

(委員)

管理職研修の対象の役職をお聞きしたい。

(事務局)

対象は課長職又はこれに相当する職以上となっている。

(会長)

在職職員受講者割合の60.8パーセントは、未受講者の内、受講した方の割合なのか。

(事務局)

在職職員に対して、これまで、新規採用職員研修と管理職研修を受けたことがある職員の人数を合算して、割合を出したものである。

(委員)

管理職研修は何年に1回受けるようになっているのか。

(事務局)

この研修は令和元年度から開始し、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、令和4年度が3回目の実施である。研修開始から日が浅いため、現在は未受講の職員に積極的に受けてもらうようにしているが、今後、実施回数を重ねる中で再受講を呼びかけていく。

(委員)

資料1にも書いてあるように、管理職として働きやすい職場づくりにつながるよう期待する。

(事務局)

承知した。

(会長)

在職職員の内、未受講者は約300人いるが、新規採用職員と管理職以外ということになるため、未受講者のほとんどは中堅職員ということか。

(事務局)

そのとおりである。管理職研修を数年実施し、対象職員を拡大していきたいと考えている。また、新規採用職員研修については、新規採用職員以外でも希望者は受講できるようになっている。

(会長)

鎌ヶ谷市ではパートナーシップ制度策定の検討も始まっているため、性的マイノリティへの理解を深めるためにも広く受講していただきたい。

(事務局)

承知した。

女性委員の比率について

(委員)

資料1の2ページにある「市の審議会等における女性委員の登用」について、数値が伸び悩んでいるのは候補者が見つからない等の課題があるからだと思う。そのためには次世代リーダーの育成が求められる。

(事務局)

ご指摘のとおりである。依頼先の団体に所属している女性が少ないこともあり、呼びかけても対象者がいないという課題がある。女性委員の登用に繋がる策を検討していきたい。

(会長)

資料1の4～5ページにある「地域防災計画への女性の参画」についても、同様に防災会議の女性委員が少ない。地域の団体の中で女性委員が少ないのが課題かと思う。

(事務局)

審議会に関わらず、女性委員が必要な理由を呼びかける必要がある。

(会長)

地域の団体に女性役員を増やす方法について、経験のある委員にお聞きしたい。

(委員)

所属している女性に次期役員の声がけをして、徐々に増やすよう努めている。

(委員)

サークル等の地域の市民活動では女性が多い感覚があるが、審議会等で女性が少ないのはなぜか。

(事務局)

委員登用にあたり、会長等の役職指定がある場合が多く、団体の長となると男性の割合が多いためかと考えられる。

(会長)

子どものPTAを務めたことで、PTAと自治会に繋がりがあることを知った経験がある。若い方でも防災関係に関心がある方もいるが、PTAを経験しないと、そのような連携も知ることができない。情報が上手く共有できることが望ましいと感じた。

(事務局)

地域コミュニティの存在は大きいため、市民に平等に情報が行き届く方法を検討する必要性を感じている。

(委員)

防災に関連して、気軽に参加できるイベントがあると関心に繋がると感じる。

(事務局)

市民活動推進係と男女共同参画室で実施している「かまがや市民活動・男女きりぎりフェスタ」では、団体の活動PRを行っている。令和4年度は防災関係のワークショップも実施した。このようなイベントに市民に参加いただくことで、市民の輪が広がることを期待している。

また、令和4年度末に男女共同参画室で「ひとりひとりの防災ガイド」を作成した。家庭でできる災害への備えや被災時の生活において配慮・支援が必要な方がいることを周知・啓発するものである。

(委員)

防災ガイドは自治会回覧しているのか。各家庭にあると嬉しい。

(事務局)

自治会回覧は今後行う予定で検討している。

市職員の男女比率について

(委員)

市の新規採用職員の男女比率はどのくらいか。

(事務局)

まず、令和4年度の市職員全体の男女比率については、男性61.3パーセン

ト、女性は38.7パーセントである。令和5年度の新規採用職員については、男性13人、女性20人である。

(委員)

女性は結婚や出産等で退職する割合が高いか。

(事務局)

退職理由は様々なため、性別は関係ないかと思われる。

(委員)

女性の管理職の登用については、在職職員の中から管理職を担える能力のある女性職員を掘り起こして登用しているかと思う。管理職の男女比率は半々であることが理想であるため、これから更に力を入れていただきたい。

(事務局)

承知した。

(委員)

女性の管理職がいるのは、女性の働きやすさに繋がる。

(事務局)

そのとおりである。性別問わず活躍できることが望ましい。

(委員)

管理職を目指す男性もいるため、女性の管理職も平等にいるということを、男性にも意識してもらわないといけないと感じる。

(事務局)

性別にとらわれない意識づくりが重要と考える。

男性のための相談について

(会長)

資料2-2の26ページのNo. 51について、鎌ヶ谷市では男性相談は実施しているのか。

(事務局)

現在、女性のための相談のみ実施しており、男性から相談が寄せられた場合は千葉県窓口を案内している。11月の女性に対する暴力をなくす運動を広報

誌に掲載する際に、県の男性相談の窓口も周知している。

(会長)

男女共同参画局の令和4年度男女共同参画白書では、男性の相談窓口が課題として挙げられているため、窓口の設置の検討を始めた方がいいのではないか。

(事務局)

現在、男性からの相談は少ないが、相談内容は把握するようにしているため、検討していきたい。

(委員)

最近、新聞でも、男性が家事育児を中心に行っており夫婦間のことで相談したい人がいることが取り上げられていた。子育ての悩みを抱える男性も多いが、女性が多い子育て支援の施設は行きにくいことが多い。男性の居場所作りが求められる。子育てに限らず、DVも男性は相談しない傾向がある。

(事務局)

現状について、しっかりと把握していきたい。

市職員のセクシャルハラスメント苦情相談について

(委員)

資料2-2の17ページのNo. 37について、市職員のセクシャルハラスメント苦情相談が0件となっているが、この相談の相談員は市職員か。

(事務局)

相談員は市職員が担当している。

(委員)

被害がないため相談件数が0件なのであれば喜ばしいことだが、被害があるが相談できずにいるという可能性も考えられる。相談窓口はこのほかにもあるのか。

(事務局)

年数回、産業医による定期健康相談を実施しており、健康に対する不安や気になることを相談することができる。

(委員)

ハラスメント防止研修も実施しているが、どのような内容か。

(事務局)

全職員を対象に希望者に対して、外部講師を招いて実施している。セクハラ・パワハラへの理解や、ハラスメントが起きてしまった際の対応方法を学ぶ内容である。

(会長)

実際にパワハラ等が起こり、市の苦情相談員に相談した場合の相談の流れはどうなっているのか。相談する方も相談後にどのような対応をされるのか気になるところかと思う。

(事務局)

相談があった場合は人事室と連携をとるが、対応方法については、この場でお答えできないため会議後に確認する。

(2) その他

(事務局)

(パートナーシップ制度の制定について、検討が始まったことを説明し、今後の予定を共有)

(会長)

鎌ヶ谷市は条例を制定するのか。

(事務局)

要綱による制定になる。

(会長)

議会への対応はどのように検討しているか。

(事務局)

議会へは報告という形で情報共有していく。懇話会にも骨子案を報告する。

(会長)

懇話会委員からも制度への希望はあるか。

(委員)

既に導入している市によっても手続きに要する手間は異なるため、手続きが難しいと利用する方が大変だと思う。

(事務局)

策定委員の意見を伺いながら、制度利用者が利用しやすいことを第一に考えながら検討していきたい。

(会長)

ファミリーシップも加わるといいと感じる。同姓カップルの子どもも認められるような制度を期待する。

(事務局)

検討していく。

(事務局)

(続いて、男女共同参画週間に関連した新規事業として、性別による無意識の思い込みエピソード募集事業を周知)

(会長)

応募状況はどうか。

(事務局)

件数はお伝えできないが、応募が更に増えると嬉しいところである。

(委員)

どのようなところで周知しているのか。

(事務局)

市内公共施設へのチラシ配架のほか、男女共同参画関係団体への周知や、市広報誌への掲載、SNSの活用等で周知している。

(委員)

学生は特にこのような内容に意識が高いのではと感じる。学校に掲示することで、生徒だけでなく、教諭の意識づくりにも繋がるのではないかと。

(事務局)

来年度実施の際に学校への依頼も行いたい。

(委員)

男女共同参画計画の進行管理表には記載されているのか。

(事務局)

新規事業として、資料2-2の1ページのNo. 2の令和5年度の課題・取組内容に掲げている。令和5年度の実績報告の際に数値も掲載する。

(会長)

ほかに意見はあるか。

(会長)

前回の懇話会で共有のあった「パパ・ママのための子育て応援ガイド」について、その後の反響はどうか。

(事務局)

令和5年1月から、鎌ヶ谷市で出生届を提出した家族を対象に配付を開始し、3月からアンケートを当該子育て応援ガイドに付けて配付している。現在、寄せられた意見はない。市ホームページでも閲覧とアンケート回答ができるようになっていて、今後、配付場所を拡大する予定である。

(会長)

反響があると、実施したことの評価に繋がるため、継続していただきたい。

(事務局)

承知した。

(会長)

質問等なければ、ほかに事務局から連絡事項等はあるか。

(事務局)

(今年度の今後の男女共同参画室の事業の予定について説明)

(会長)

議題は以上となる。

(事務局)

以上で令和5年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第1回会議を閉会する。

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年 6 月 12 日

氏名 山田 芳裕

氏名 石田 友和